＜Ｃコース＞

【参加者】　ＣＬ 丸岡　隆、ＳＬ 河野　順、小林幸子　　計３名

【コースタイム】

望岳台出発 7:10 ‥‥ 吹上温泉分岐 7:36 ‥‥ 雲ノ平分岐 7:55／8:00 ‥‥ 十勝岳避難小屋 8:10 ‥‥ スリバチ火口 9:24 ‥‥ グラウンド火口 9:48／10:00 ‥‥ 十勝岳の肩 10:20 ‥‥ 十勝岳 10:46／11:20 ‥‥(1921m)地点 11:40／12:00 ‥‥ 上ホロ避難小屋 12:30／12:40 ‥‥ 上富良野岳分岐 13:20／13:30 ‥‥ 雪渓 14:20／14:25 ‥‥ 上ホロ分岐 14:45 ‥‥ 安政火口下河原 15:15／15:25 ‥‥ 十勝温泉 16:00／16:20 ‥‥ カミホロ荘 16:40

【感　想】

前日に続き快晴。登山口の望岳台に着くと既に駐車場は満車に近い。正面に噴煙を上げる十勝岳、左に美瑛岳、美瑛富士、右に富良野岳に続く稜線が広がる。十勝岳山頂迄は標高差 1,147ｍの行程である。

スタートして暫くは傾斜の緩やかな登山道。雲ノ平への分岐を過ぎ、避難小屋を過ぎる辺りから傾斜が増し、岩の転がる急な尾根をペンキマークを頼りに高度を上げていく。遮るものは無く、強い日射しが辛い。振り返ると、旭川から美瑛、富良野と十勝平野が一望され、望岳台から続く登山者の列がいつのまにか長く伸びている。

スリバチ火口横に出ると一旦傾斜が緩やかになり、グランド火口を右に見て十勝岳の肩への取り付きまで比較的平坦な尾根道が続く。取り付きから足場の悪いガレ場の急斜面を一気に登ると十勝岳山頂に出る。３６０度の大パノラマが広がり、北にトムラウシから大雪山系の山々が望まれる。前日は強風で途中で登頂を断念した人もあったと聞いたか、今日はほぼ無風状態、次々に登山者が上がってくる。

下りは、上富良野岳から十勝岳温泉に降りることにする。北海道らしくない暑さには参るが、せっかくの好天気、時間にも余裕があり、展望を楽しみながらゆっくり歩くことにする。

十勝岳山頂基部から上ホロカメットク山迄は西側が切れ落ち、東側がなだらかな斜面となった稜線歩きが続く。登山者は少なく、ツアーの団体客、短パンにＴシャツ、ペットボトル１本持っただけの外国の若者など。途中、Ｂグループのメンバーと交差する。

上ホロ避難小屋近くの雪渓下の水場で冷水を補給後、巻き道を通って上ホロカメットク山を越える。山頂からの道と合流する手前でチングルマ、名前を忘れたが多分キバナシャクナゲ、エゾツガザクラが咲き乱れるお花畑が現れる。ここ迄頑張ったメンバーへのご褒美か。

上富良野岳から十勝温泉迄は急な下り。３００段あるという木製階段や雪解け水で小川のようになった登山道を抜け、雪渓を三カ所ほど越えると、安政火口下の河原に出る。ゴールは近いが、暑さのせいか、ここで最後の休憩を取っている人が多い。

十勝温泉から宿舎のカミホロ荘までは２０分程の車道歩き、途中、キタキツネに出会う。

到着後、他のグループの状況を電話で確認しながらロビーで帰りを待つ。

① 雲ノ平分岐

② 避難小屋からの急登

③ グラウンド火口から大雪山を望む

④ 十勝岳の肩への取り付き

⑤ 十勝岳山頂

⑥ 富良野岳への縦走路

⑦ 上ホロ避難小屋のお花畑

⑧ 上ホロカメットク山のお花畑

⑨ 上ホロカメットク山

⑩ 上富良野岳山頂

望岳台
Cコース
裾合平分岐
1
2
十勝岳避難所
3
4
美瑛町
5，6
十勝岳
十勝岳温泉
上富良野町
7
上ホロ避難小屋
9
8
10
上富良野岳
三段山
夫婦岩
安政火口
前十勝
昭和火口
三峰山
富良野岳